

# 真和



## ■地球の自動車保有数 (2019)

四輪車：14 億 9,204 万台  
二輪車：3 億 5,328 万台

## ■地球の船舶 (2018)

100 トン以上の船舶は約 88,000 隻  
貨物船で運ばれている商材は、合計 118 億ト  
1 位：石油 (31 億ト 26%)  
2 位：鉄鉱石 (15 億ト 12%)  
3 位：石炭 (15 億ト 11%)

## ■地球の航空機 (2017)

約 39,000 機 (軍用機を含む) の航空機を保有  
最盛期には 16,000 機が空を飛んでいる  
航空会社の年間フライト数 (2019) 3,428 万便  
(コロナ禍の 2020 は 49%減の 1,680 万便)

## ■地球のロケット (2021)

世界各国で計 146 回のロケット打ち上げが実施

## ■地球の石油消費量 (2020)

5 兆 1,349 億リットル/年 (43.64 億バレル)

年間テーマ

# 巔精髓想全

感性能力を磨き癒の探究が  
単位存在の本質を求めることにつながる

## ● 「鼓動」特集

クルマで人の健康と  
地球環境を変えていく鼓動

● 「中心から中心へ」植松整骨院

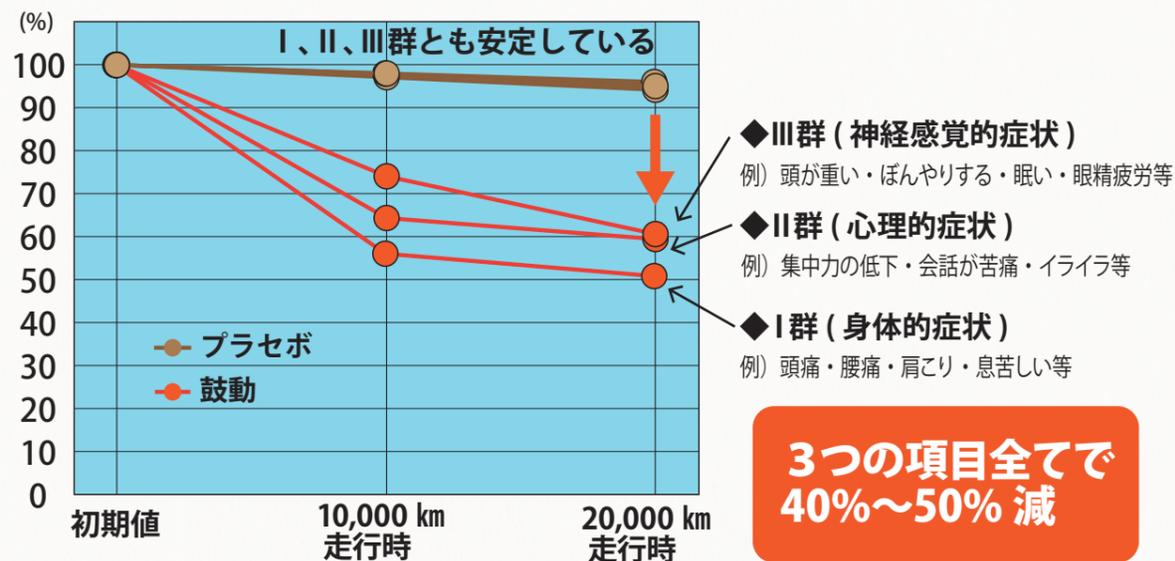
● はじめの一步

● お知らせ・勉強会案内・編集後記

## 「鼓動」の試験データ①

生体の反応(身体・心理・神経感覚)

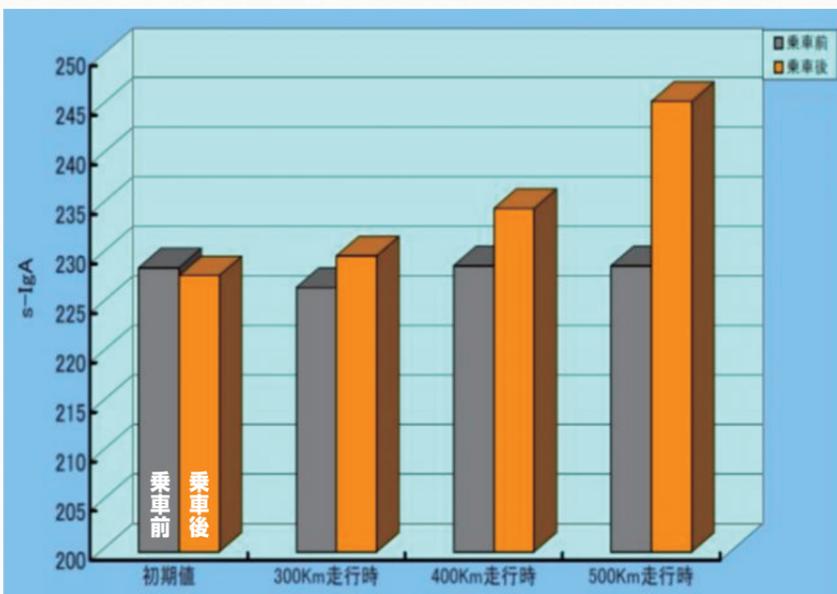
鼓動搭載条件における 20,000 km 走行時の自覚症状の変化



- 対象者・・・1日30km以上の自家用車通勤者12名による
- 検証条件・・・100km走行ごとに検査を実行
- 検証対象製品・・・電元気マシーン鼓動12Vバッテリー接続タイプ

## 「鼓動」の試験データ②

生体の反応(免疫力:s-IgAの変化)



※s-IgA: 分泌型免疫グロブリン A (secretory immunoglobulin A: s-IgA)。唾液、鼻汁、汗、および乳汁などの分泌液に存在し、病原体の粘膜侵入の阻止や毒素の中和作用をもつことから、粘膜免疫の主体とされている。

# クルマで人の健康と地球環境を変えていく



株式会社スズヒロ 代表取締役  
**鈴木 常夫**  
(会員番号 3041)



「鼓動」シリーズ

**徳がない**

1990年バブル末期の頃、親から継承した事業以外にも何か新しい仕事を立ち上げたい願望を膨らませていました。しかし、バブル経済は直ぐに崩壊し始めたばかりのビジネスを潰したくないという思いだけで、大きなマイナスを作って行きました。マイナスは会社の赤字だけに止まらず、社員の不正、盗難など・・・遂には創業時からの取引先から取引停止通告を受け、とうとう親から引き継いだ事業も失つてしまいました。

**救い**

そんなとき救いだったのが小林正観さんの言葉でした。「嬉しい、楽しい、幸せ!何万回も唱えれば、嬉しい、楽しい、幸せなことが向こうからやってくる。もう一つ、「ありがとうございます」という感謝の言葉。自分の年齢×1万倍唱えればお金が降ってきますよ・・・と言ったことを聞きました。追い詰められていた私は「ありがとう」といいます」を唱え続けました。一年で365万回、自分の年齢をとうくに超えていましたが、お金は降ってきませんでした。お金は降ってきませんでしたが、代え難い縁と技術をいただくことができました。

「あしがついでにやります」を続けていたお陰で10年間の苦しみから光が見え始めました。

**生体エネルギー技術との出会い**

バブル経済崩壊から10年、友人の紹介で生体システム

**大手企業へのアプローチ**

ちょうどその頃、「自動車工業の社長が「乗れば乗るほど健康になる車を作りたい」「走れば走るほど環境を良くする車を作りたい」といふ自身の夢を語っているのをテレビで拝見しました。その後、社長にお会いする機会を得ましたので「社長の夢を実現できる技術があります」とお伝えし半年間の検討期間を頂きました。紆余曲折あって、結果採用の可否を判断出来ないまま保留という事になり大手企業へのアプローチの難しさを知りました。

**大学での検証**

大企業へのアプローチの過程で佐藤先生の技術を提供していただき、実際の車を使っての実験実証に取り組み、バッテリーを再栽培する仕組みを持った製品「鼓動」を実験しました。

△実践研究会の本部勉強会に参加することが出来、初めて佐藤政二先生にお会いしたとき「私は生体エネルギーの技術を使いバッテリーを作りたい」と口走っていました。そのとき、佐藤先生はそのバッテリーを使ったフォークリフトで運んだ荷物が良くなったらしいね」と言われたのですが、当時のその意味が理解できず「???」だったことを思い出します。

バッテリーを作りたいと言っても巨額の資本を必要とするバッテリー業界への進出は零細企業には難しく、何もできないまま5年が経過、切羽詰まって思い至ったのが「既製品のバッテリーの能力を高める」と言う考えでした。バッテリーの再栽培です。

「鼓動」の試験データ③

	鼓動なし			鼓動あり								
	対照区			実践区1			実践区2			実践区3		
	11月15日(水)			11月16日(木)			11月17日(金)			11月21日(火)		
気温	16.8°C	23.7°C	17.8°C	14.9°C	14.2°C	11.2°C	14.4°C	16.7°C	15.0°C	8.8°C	13.5°C	13.8°C
湿度	51.6%	28.6%	35.5%	35.5%	31.6%	38.8%	36.7%	34.6%	30.9%	34.0%	23.0%	27.3%
走行距離	430.6km			514.8km			430.3km			433.3km		
ガソリン量	20.94L			23.97L			18.4L			17.86L		
燃費	20.56km/L			23.97km/L			23.39km/L			24.26km/L		
<b>対照区比</b>	—			<b>16.59%</b>			<b>13.8%</b>			<b>17.996%</b>		

【テスト条件】  
 走行道路：高速道路のみ。平日同じ時間帯に走行。Am10:00頃～Pm4:00頃。  
 GS：IN=IC手前5km OUT=IC出口より2km。走行前後でそれぞれ同じGS。  
 満タン時の注意：地面の傾斜の同じ側に停車、空気を出して給油口の同じ位置まで補充。  
 テスト車：カローラ10年間使用。110,000km走行。ノンターボ。  
 気候：4日間とも晴天、ほぼ無風。湿度・気温測定。エアコン不使用。

【補足】  
 ・速度 平坦路 95km/h 下り坂100km/h 登り坂90km/h  
 ※17日走行時、平均時速が2～3km/h速かったようです。

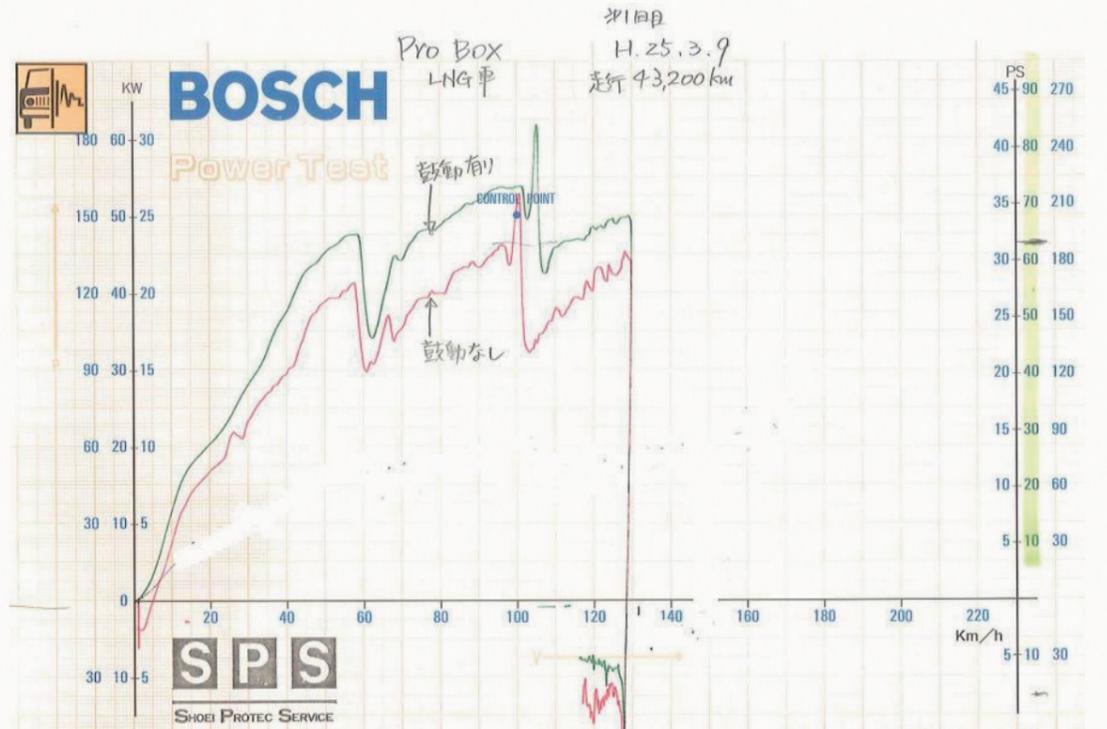
・東名高速下り線 牧の原SA直前の登り坂  
 《鼓動取付前》平坦道路走行時 95km/h から早めにアクセルを踏み込み速度を一定に維持したかったが、徐々にスピードダウンし登り坂車線に移動、最後は70km/hに。(キックダウンしない程度に踏み込み続ける)

《鼓動取付後》同様な踏み込み状態で80km/hを維持できた。この10km/hの差は大きい。他での走行時もパワーアップ感があったが、この方法が確実に判断できた。  
 ・17日、無意識に走行時100km/hオーバーが多かったこともアクセルを踏み足先の感覚は同じでもパワーアップしていたため予定の速度をオーバーしてしまったかも？  
 ・21日は、極力「初日と同様に！」と速度計に集中して走行。最も初日に近い走行だったと思う。  
 ・全日とも走行後の疲労感は一切無し！（昼食後30分間仮眠）



ドライバー：古田信弘氏  
 モトクロスレース・マスターズ世界選手権  
 70才代の部総合4位入賞

「鼓動」の試験データ④

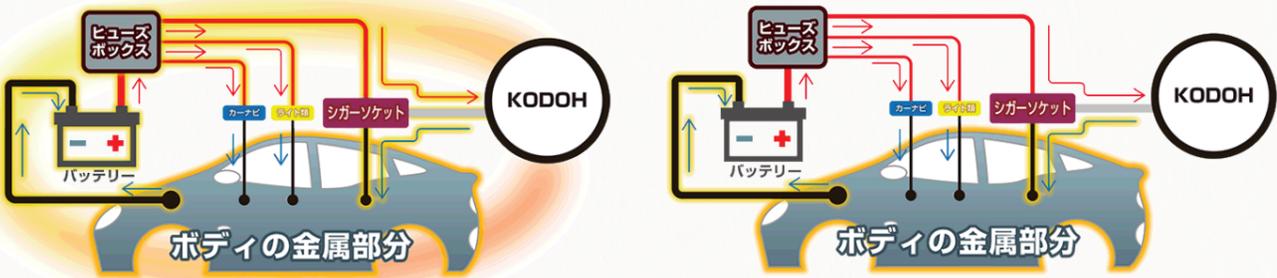


「鼓動」が誕生しました。「鼓動」はマルセイ商品としての販売も始まり、お客様からは「快適だ」「長距離乗っても疲れなし」「田舎が良くなるようになった」「力強くなった」などなど沢山の高評価を頂けるようになった「力強くなった」しかしながら「良くなるからいい」などの感想もあり、変化がわからない方や、未来のユーザーの為に、何か検証データが必要でした。様々な分析方法を検討していく中で、大阪府立大学、医学博士清水教授の研究室にご縁を頂きました。健康な被験者15名を集め、人間に対する効果検証に取り組んでくださいました。一回40分・週4回鼓動を装着した停止車両に乗車。初めのうちは鼓動なしのプラセボ車との違いがあまり出なかつたのですが、4週目からはっきり違いが出始め、のちに教授自身が「自動車が医療器具になる」と言われるくらい驚かされていました。その後、マイカー通勤者にも検証参加いただき、トータルで3万キロになるまで実走行でのテストを実施し、「乗れば乗るほど健康になる」「貴重なデータがとれました」「ストレス半減になる」とも言えます。

鼓動の能力アップ

「乗れば乗るほど健康になる」「走れば走るほど環境を良くする」を実現するために、バッテリー取付タイプの鼓動バージョンの開発に始まり、マイナーチェンジのバージョン1.1(白鼓動)、鼓動プラグ(プラグターミナル取付タイプ)と製品化してまいりました。鼓動発売から15年目となる昨年には鼓動バージョン2となる、2タイプの新型「KODOH」を発表させて頂いていただきました。大型トレーラーなどを含む自動車運送業や、バス、タクシーなど旅客運送業を含むあらゆる

KODOHのメカニズム



この電気が再度KODOHを通り供給されることでループ的に加算し続けます

KODOHを通り能力を高められた電気はバッテリーに蓄えられます

これからの仕事

新型「KODOH」の最大の目的は「徳を高める」「全てを健全化する」事です。「徳」は「得」につながる佐藤先生に教えて頂きました。佐藤先生とのご縁に始まり、能力を高める技術を頂き、何処にもない唯一無二の素晴らしい製品ができました。

しかし、私の本当の仕事はこの先にあります。鼓動シリーズを日本中に広め、ひいては世界中の人の「徳を高める」「全てを健全化する」という、他の人の徳を高める事に携わる事です。「徳」のない自分が「徳を高める」装置を世の中に広めていく仕事ですので、皆様の叱咤激励のご協力を切にお願いします。

一生続ける仕事として歩みを止める事なく、取り組むことで、自分の徳も身につけばこんな幸せなことはないと思っています。皆様どうぞよろしくお願いたします。

(株)スズヒロ代表取締役 鈴木常夫  
 取材文責 東海支部 藤城浩一



株式会社スズヒロ  
<http://e-kodoh.com/>

## からだの変化

### ★荒川洋一さん（東海支部）

「鼓動シリーズ」を使って車の環境を高めると、高速でも視野狭窄になりにくいで、運転時の安全性を維持できます。特にサーキットで200キロ以上で走るとそのことがよくわかります。



### ★早坂正博さん（山形支部）

お客さんに「鼓動をつけて家の周りを走ると、近隣の環境も良くなりますよ」とお伝えしたら素直にそのまま実践。毎日のように家の周りを走ってから帰宅しているそうです。

### ★愛知県の方

夏場にクーラーを入れると冷えすぎで体が痛く感じていましたが「KODOH-PRO」を付けてからクーラーを入れても全く冷えの痛みを感じず、涼しくて快適に感じます。また1時間ほど車で移動すると、以前はとて疲れを感じていましたが、今はほとんど疲れなくなりました。



★竹田浩之さん（大阪府）  
長距離運転が多いので、「楽に走れるように」と「鼓動」3個、「KODOH-PRO」3個、「KODOH ZeSpiral」3個をレクサスのハイブリッド車に設置。その御蔭で東大阪から本部までの5時間を疲れることなくノンストップで運転して回ることができます。それでも前に乗っていたクラウンのガソリン車の方が体への負担が少ないと感じるので、ハイブリッドの方が体に掛かる負担が大きいのとわかります。



### ★農業者（北海道支部）

トラクターに「KODOH-PRO」を付けて仕事をすると、あまり疲れずに一日中トラクターに乗って仕事ができます。今まででは考えられない疲労の軽減を感じています。

### ★愛知県の方

仕事で帰りが遅くなり30分の帰宅の道のりを耐えられず途中で車を停めて15分ほど仮眠していましたが「KODOH-PRO」「KODOH ZeSpiral」を取り付けてからは眠気を感じず早く帰宅できるようになりました。

## 経営・経済の変化

### ★伊藤恵子さん（岩手県）

お豆腐を仕入れて移動販売をしていた時の話です。最初はなかなか売上が上がらずにいましたが移動販売の車に「KODOH-PRO」をつけたところ、製造所で直接買うより美味しいから届けてほしいとリピートが増え、売上もどんどん上がっていくようになりました。豆腐はほとんどが水とタンパク質。大豆の香りと甘みが「KODOH-PRO」を付けたらまったく変わってしまいました。シンプルなものだけにその違いがわかりやすかったようです。肉体的にも一日10時間軽トラックに乗っての仕事ゆえ、疲労もかなりのものですが「KODOH-PRO」をつけてからは疲労感も大幅に減少したのもありがたかったです。



### ★五十嵐徹さん（新潟支部）

ぶなしめじの栽培に使う、おがこや資材の運搬トラックに鼓動プロをつけて運ぶようになったところ、ぶなしめじ収穫後のおがこ（廃棄）置き場が、近所から苦情が来そうな悪臭が出ていましたが、それがなくなっていることに気づきました。しかも、そのおがこは堆肥として農家さんや業者さんに引き取ってもらっていたのを、なんと今は、買い取ってもらえるようになりました。

### ★棒吉隆さん（新潟支部）

梨やりんごを運搬するのに「KODOH-PRO」をつけて販売していると新規のお客さんがついてきて売上げが急に伸びました。さらに梨の下草を刈る乗用草刈機に「KODOH-PRO」をつけたところ、雑草を刈ったときの青臭さが激減。匂いがなくなったということは、草の能力が高まって刈った箇所がイオン化しにくくなっているということ。当然、その下の微生物叢も変わっているはず。ここで終わりではありません。鼓動プロをつけて刈ることで草の能力が高められ、その草が分解されて能力の高い土になりますが、分解するときにも有機物が動くのでそれだけエネルギーを入れる必要があります。こうしてできた土の能力が高くなると増々堆肥が足りなくなっていくと、一つの加算が、連鎖して次から次へと対策が増えていくのがよくわかります。



### ★西口達也さん（大阪府）

「KODOH ZeSpiral」をつけてから、車に乗って本部に来ると仕事の話が入ってくるようになり、以前よりも勉強会に行こうと思うようになりました。徳が高まる空間ができているのだと実感しています。



### ★佐藤実保さん（長野支部）

毎月、瓜生さんのお肉を購入しているのですが、ある月は前月のお肉に比べて、しゃぶしゃぶにした時に、お湯がキレイ。くさみもなくなり「なぜか？」聞いたところ、輸送の時のトラックに「KODOH-PRO」をつけられたとのこと。輸送のたった数十分で「えーこんなに違うの?」とびっくり。



## 土や商品の変化

### ★藤城浩二さん（東海支部）

堆肥の原料運搬に「KODOH-PRO」「KODOH ZeSpiral」を使っています。取り付けたダンプに原料を乗せると途端に匂いが変わりますし、馬力が上がるのか規定量積んでも快適に走れます。

### ★大野純平さん（首都圏支部）

建築現場に底力等を降ろす際、業者さんをお願いしてトラックに「KODOH-PRO」2個をつなげてもらい、エンジンをかけたまま一緒に降ろしをします。さらに降ろした資材を自分の車に積み替えて、一走りしてまた降ろします。トラックと自家用車は「個」が違うので、それぞれの環境で加算できます。さらに、今回使った車は数多くの方が使うレンタカーです。レンタカーの環境を劣化した環境と捉えるか、たくさんの情報のお宝の山と捉えるか、私たちの視点と能力が問われます。



### ★村井友香さん（岩手県）

スキー競技に夢中になっている息子の敬輔が2022年4月3日の最終戦でなんと3種目共に1位の総合優勝。その上、小学生4年生ながら板やウェアのスポンサーの話まで来てびっくり。その秘訣は・・・「じうしみのオリンピックスキーヤー」を目指す敬輔はスキー道具一式を「KODOH-PRO」を3個つけた車に12月初めから4月までの期間ずっと積載しておき、スキー場で滑り終わるとまた載せる作業を1月1日以外の4ヶ月間ずっと繰り返していました。本人の高い目標設定と努力を後押ししてくれるスキー板で、このまま行けば県選抜やジュニア・オリンピック強化選手になれるレベルらしいです。更に敬輔は外食が難しく、「KODOH-PRO」の環境の車に乗せたテイクアウトや食材でないと食べません。たまには外食したいのですが（^^; 生まれる前、お腹に入っている時から生体エネルギーの環境を知っている生体っ子は体の反応が繊細ですね!

## ユーザーの感想

新型「KODOH」を使用したユーザー様の声を一部お伝えします

### ★黒崎真也さん（東海支部）

花の苗を愛知から長野の安曇野に4tトラックで搬送しています。「KODOH-PRO」をつけてからの運転時の疲労が明らかに軽減しました。さらに驚いたのは安曇野でトラックの荷台を開けた途端に、土のいい香りがしてきて好気性微生物が動いているのがわかります。同じように「KODOH-PRO」をトラクターにつけたら、土の香りが全く変わって驚きました。その効果を実感した今では「KODOH-PRO」3個、「KODOH ZeSpiral」1個をつけています。



### ★中野孝治さん（新潟支部）

稲刈りの際には、コンバイン（稲刈り機）や運搬トラックに「KODOH-PRO」を導入。コンバインに鼓動プロをつけたその日、お米を長年定期購入している会員さんから突然電話があり「お米が急にもちもちしたのですが、何かしましたか」と聞かれました。鼓動プロをつけて収穫したお米だけでなく、すでに購入してもらったお米も同時に変わる（情報がつながっている）というのがミソです。



### ★柳澤正春さん・恵子さん（長野支部）

今年家を新築した際、基礎のコンクリートを打設するポンプ車に「KODOH-PRO」2個を使用しました。職人さんいわく「いつもの力丸入のコンクリートよりもさらに硬化が早くて粘っこい」とのこと。「KODOH-PRO」付きのポンプ車の空間を通過するだけでコンクリートの能力（万有引力など）が劇的に高まっていることが見た目でもわかるのはすごいことです。この環境に住む人の肉体の万有引力も高まり、若返りにつながっていくと考えられます。





# 「鼓動」につながる物語

## 排気ガスで環境を励起する実践

※マフラーカッターは、大きな音を減衰させ小さくする消音器としての効果と、エンジンの特性を変化させる影響力も持つドレスアップパーツ。

これらから私たち人類社会が見出していくこととなります。

の連鎖を起すことも可能です。真に人類宇宙自然に貢献できる道は、

（生体エネルギー準拠位置）

それを食する人の能力も高まっていく能力（生体エネルギー準拠位置）

物が吸うことで能力の高い酸素を排出し、さらに農作物の能力を高め、

にシフトしていますが、能力の高い二酸化炭素を排出して、それを植

に過ごすことができるようになります。自動車業界は世界的に電動化

住宅でも環境の能力を高めると、ストーブの燃焼効率は高まり、排

出される二酸化炭素の能力が高まることで換気回数が少なくても快適

で、排気ガスの能力を高まり、個としての車全体の能力が高まること

を言える電気の能力が高まり、個としての車全体の能力が高まること

です。住宅でも環境の能力を高めると、ストーブの燃焼効率は高まり、排

出される二酸化炭素の能力が高まることで換気回数が少なくても快適

に過ごすことができるようになります。自動車業界は世界的に電動化

にシフトしていますが、能力の高い二酸化炭素を排出して、それを植

物が吸うことで能力の高い酸素を排出し、さらに農作物の能力を高め、

それを食する人の能力も高まっていく能力（生体エネルギー準拠位置）

の連鎖を起すことも可能です。真に人類宇宙自然に貢献できる道は、

これらから私たち人類社会が見出していくこととなります。

生体エネルギー応用商品「練精（れんせい）」をつくっていた廣川鋼管さんが、「練精」をつくる前に実験的に手掛けていたものがあります。それは「鼓動」にもつながる、クルマの排気ガスに着目した商品です。毒を薬に変える事のできる生体エネルギー技術であれば、排気ガスも無害化することができると考え、クルマのマフラーに取付ける市販のマフラーカッターを加工して動物や植物で実験を重ねました。その実験のひとつが下の写真です。

フォークリフトの排気ガスをタンクに入れた水に入れて、その水で切り花の持ちを比較しました。

その後、㈱スズヒロの鈴木常夫氏により、バッテリーに働きかけることでクルマの能力を高める「鼓動」が想造されることとなります。

同様の結果が動物実験でも得られたことで、この結果を持って大手自動車メーカー等に話を持ちかけますが、実現することはありませんでした。

生体エネルギー応用商品はネジ一本でクルマを変える能力を持っています。「鼓動」は直接的に排気ガスに働きかけるものではありませんが、鼓動がバッテリーの能力を高めるといことは、クルマの血液とも言える電気の能力が高まり、個としての車全体の能力が高まることで、排気ガスの能力を高められると考えられます。

住宅でも環境の能力を高めると、ストーブの燃焼効率は高まり、排出される二酸化炭素の能力が高まることで換気回数が少なくても快適に過ごすことができるようになります。自動車業界は世界的に電動化にシフトしていますが、能力の高い二酸化炭素を排出して、それを植物が吸うことで能力の高い酸素を排出し、さらに農作物の能力を高め、それを食する人の能力も高まっていく能力（生体エネルギー準拠位置）の連鎖を起すことも可能です。真に人類宇宙自然に貢献できる道は、これらから私たち人類社会が見出していくこととなります。

### 実験区



21日後

実験開始

### 対照区



対照区

## 走りと車内環境の変化

★石川正俊さん（東海支部）

BMW に取り付けてみたところ「KODOH-PRO」はパワーが下から湧き上がる感じがします。「KODOH ZeSpiral」はスポーツカー的な動きの俊敏さを感じます。両方つけたほうがさらに加算されて快適に楽しく乗れますが、一方を外すと少ししょぼりする感じに。。スズキの軽トラに「鼓動プラグ」「KODOH-PRO」「KODOH ZeSpiral」がソリンに「オイルX」を入れると今まで2速にシフトダウンしないと登れなかった坂道が、4速のまま普通に上がれるように!! 同じ車で新型鼓動を外すと2速までシフトダウンしないと上れなくなってしまいます。



★栗根達志さん（首都圏支部）

「KODOH-PRO」利用による効果例

- (1) 対象車種  
ホンダ アクティ 4 WD 5 MT
- (2) 利用期間 : 2年
- (3) 使用前後の変化
  - (3.1) 各ギアの利用可能範囲が拡大 これは、ロックしてエンストしそうな最低速度の比較である。また、実際にこの最低速度から加速することが可能である。

	使用前	使用后(2年後)	使用后(当初)
3速	15km/h	⇒ 8km/h	-
4速	30km/h	⇒ 15km/h	-
5速	40km/h	⇒ 25km/h	30km/h

利用可能な最低速度が低くなった。かつ、利用当初よりも2年経た今の方が、利用可能な速度は一層下がってきている。これにより、ギア間（例えば、3速と4速）で利用可能な速度帯が重なる領域が増えるので、非常に使い勝手が良くなることを意味する。

事例の1つとしては、箱根の旧道を走る場合、鼓動利用前では2速や3速も利用して上っていたのに、何と4速だけで上ってしまった。頻繁なギアチェンジを必要としないので負荷も少なく快適。当然、必要とあればギアを利用すれば更に加速を得られて、これまた快適。運転に様々な余裕が生まれた。

(3.2) トルクが太くなり、低回転時からの加速がスムーズになった。これにより、運転が楽になり安全性も向上した（機敏に危険回避なども可能となるため）。

(3.3) 燃費  
マニュアル運転であるので、状況に応じて使い分けておりました。大きくは、通常運転とエコ運転（燃費最優先の意識で運転）について記す。  
※本データはエアコンを利用していない状態のデータである。

	使用前	使用后
通常運転	13.5km/L	⇒ 15.1km/L
エコ運転	14.8km/L	⇒ 16.4km/L



★遠田崇裕さん（山形支部）

「KODOH-PRO」を複数個設置  
・「KODOH-PRO」を付けて初めてエンジンを掛けた時エンジンの音がとても静かになって驚きました。  
・本部までの往復約1000<sup>米</sup>の運転疲れがほとんどなくなりました。  
・行き燃費は約1<sup>米</sup>、帰りは約2<sup>米</sup>も伸びました。  
・視野が広がって視界がかなり良くなりました。  
・アクセルレスポンスとトルクがかなり良くなりました。  
1.6リッターエンジンが2リッターになったような感じです。  
・元々乗り心地は良くない車ですが、かなり良くなりました。  
・オーディオの音もはっきり聴こえるようになりました。特にボーカル。  
・当たり前ですが車内環境がすっきりして呼吸が楽になりました。感じた変化はたくさんありますが、やっぱり一番はほとんど疲れなくなった事です。

★小林清伯さん（長野支部）

鼓動をつけられたら、真っ先に奥様が車内の音響の違いに気づかれ驚かれたそうです。鼓動をつけたことをまだ、奥様に言っていなかったので「おとーさん車に何したの？」の勢いだったらいいですよ（笑）



★根本哲郎さん（東関東千葉支部）

2000年製のトヨタビッツを購入して今年で20年となり走行距離は29万キロを超えました。

2020年10月に「KODOH ZeSpiral」を導入。もともと平均16km/L走っていた車ですが、20年たった今でも変わらず、遠出をすると17~18km/Lにもなるほど、走行距離が新しいときと変わらないのです。

「KODOH ZeSpiral」を導入してすぐに感じたのは、CDの音が綺麗に聴こえるようになったこと。最初からついている純正のオーディオです。その他には、お茶は独特の渋みが消えまるやかに、栄養ドリンクは引っかかるような味がなくなり、さらっとした水のように感じます。ビールやお酒、スーパーで買った食材なども、長い時間、車に置いておいたほうが変わりやすいように思います。車の中でお酒を熟成させてみるのも面白いかもと思っています。

メンテナンスもやって大事に使ってききましたが、もう20年の車で、いつ壊れてもおかしくないと思いつつも乗ってききましたが、今のところ変わらずに乗れているので、逆にいつ壊れるんだろうと思っています（笑）。



地球とつながる丸太の大黒柱  
きわみのウォーターサーバー  
院長からのメッセージが書かれたホワイトボード

### 受付と待合室



## 植松整骨院の実践

# 中心から中心へ

植松整骨院のホワイトボードには  
毎月院長からのメッセージが  
丁寧に手書きで書かれている

私達が普段お付き合いしている物の中で、一番身近で大きな存在は地球です。地球の力を借りて立っていることを忘れて、足の筋力が弱いから鍛えようなどとなってしまう、地球の存在を無視した雑な動きや感覚が身につけてしまいます。それに対して、地球の力としての重力と極限まで関係性を良くしようとした人達が、スポーツのスーパースターや、武術の達人、偉大なリーダーたちです。重力に沿った状態で身体や意識が存在していると、むずかしい動きや複雑な中での決断においても、いつもスッキリして判断することができます。ヨガのマスターや、武術の達人があれだけ骨や筋肉、神経の状態を整えていくのは、スッキリしていることで自分の中心がわかることを大事にしているからです。自分の中心がわかると、人の中心がわかります。自分の中心がわかると、物の中心がわかります。自分の中心がわかると、空間の中心もわかります。

大谷翔平選手がバットの中心やボールの中心をとらえる。クリスチャーノ・ロナウド選手がボールの中心とゴールの中心をとらえる。宮本武蔵が相手の中心をとらえた上で、自分の中心をはずす。マハトマ・ガンジーが自分の中心を崩さず、民衆の心の中心と一緒にあり続けたこと、これらはすべて自分の中心を大切にされた人が、他の中心を大切にされたことからできることです。このことを「中心から中心へ」と表現します。時代が傾き、多くの人達の中心が動揺して定まらない時、誰か一人でも自分の中心を保ち、スッキリしていることは重要なことです。自分の中心が定まれば、相手の中心を大事にして、相手を支えることができるからです。

今日も中心から中心へ。安心した空間が生まれます。

院長

植松先生は2001年の秋期特別セミナーで司会をつとめて下さり、会員歴も25年以上のベテランです。静岡県支部会員はもちろん、遠方の会員さんにも裾野まで通っていた方がたくさんいるそうです。



植松整骨院  
植松 浩久 院長  
(静岡県支部・会員番号 1696)  
(柔道整復師・運動バランス研究所 代表)

スポーツ系雑誌 Number の 972号『さらば、稀勢の里 横綱論。』『“同志”の整骨院院長が明かす ともに歩んだ不屈の2年間。』として植松院長のインタビューが掲載されています。植松院長は「稀勢の里と出会ってから約9年間、診察だけでも軽く1000日は超える」そうです。角界の枠を超え、日本列島を感動と興奮で震わせた心に残る日本出身横綱の同志として共に戦ってこられた様子を垣間見ることができます。是非、バックナンバーをご覧ください。



住所：静岡県裾野市平松 462-14  
JR 裾野駅より徒歩 2分 / 駐車場あり (15台)  
電話番号：055(993)3131  
午前 9:00~13:00・午後 15:00~19:00  
※水曜・日曜・祝日は休院となります。  
※土曜午後の受付時間は17:00までとなります。  
※当院は完全予約制です。まずはお電話ください。  
<https://www.uematsu-seikotsuin.com/>

一語一語、丁寧に綴られた植松先生の言葉からは、自分自身と向き合い、一つ一つの動きと丁寧に向き合ってきた植松先生の存在のありようが感じられました。そして体を無意識に動かしている人と、意識的に動かすことのできる人。この違いはとてつもなく大きなものだと感じました。これは体の動きだけでなく、「あらゆることに意識的になる」ことにも繋がります。このことを最初に感じられたのは名刺交換のときでした。植松先生の名刺は想像よりも下の方(丹田)からすっと出てきたのです。「動き」はエネルギーの流れです。何気ない動きを意識化することで、そこにある場はまったく違ったものになります。このことを名刺交換の一瞬からも感じる事ができました。

### 物語る場

植松整骨院は2013年、生体エネルギー技術を取り入れて裾野駅にほど近い今の場所に新築されました。1階が整骨院、2階・4階が自宅になっています。整骨院を訪れる人は、最初は治療目的の方が主だったようですが、今では8割がアスリートや心理・真理を探求し自己研鑽を目的とする方々に推移しているそうです。植松先生は国民的人気を博した日本人横綱誕生の立役者の一人とされ、歴々たるアスリートや著名人が頼ってくるのは、「ご本人が冒頭の「中心から中心へ」のありようを、そのまま体現されているからだ」と思えます。

「中心から中心へ」を読んで、頭に浮かんだのは「携帯用しらす」の物語です。携帯用しらすには、「磁区・軸を整える」というプログラムが入っているそうです。単位の磁区・軸を整えて、中心をもつことは、存在のありようを整える上での第一歩。自分の中心が整ってくれば、そこから発せられる放射エネルギーも変わり、その人の

周りに安心できる場ができていきます。

整骨院の場は植松先生が想造主なので、ご本人のありようが場にそのままあらわれます。建築時には、地下からのエネルギーを吸い上げる「ストロー」の仕組みが取り入れられ、このエネルギーを待合室に置かれた丸太状の大黒柱を通して待合室全体に放射されています。これは生体エネルギー理論の「ストロー」と密教の原理の掛け算なのだそう。

「待合室にいただけで元気がなったり、付き添いで来た人も元気になってほしい」という植松先生の物語があり、ここにいるだけで骨盤が立って体が整ってきたのも、様々な設えと植松先生のありようがそのまま場に反映されているからだとわかります。

### きわみの水的作用

待合室には水誘導翻訳装置「きわみ」のウォーターサーバーが置かれています。たまたまこの水を飲まれていた患者さんが「この水すく美味しい!!」といいながら帰っていききました。

裾野市はもとも水の良い地域だそうです。この良い水を更に「きわみ」で能力加算しています。さらに、このウォーターサーバーは先程ご紹介した大黒柱の前、かつホワイトボードの目の前に置かれています。これはストローと大黒柱を介した地球のエネルギーをきわみの水に取り入れ、ホワイトボードに書かれた院長のメッセージをも水を介して摂り入れる趣向なのだとかから気づきました。毎月変わるホワイトボードのメッセージによって、水の情報も待合室の情報も変わっていくことになりました。そしてこれらの情報は毎月場に加算されていきます。

言葉や文章で読むだけでなく、水を通して新しい情報を体内に摂り入れる手法は、佐藤先生も勉強会の中でよ

く行きます。参加者が頭で理解できていないと感じた時には、水に情報を加算してその情報水を取り入れることで、情報水が体内の生体水と共鳴して学問が入りやすくなります。体内に情報の因子が入ることで、共感能力の高い人は一瞬にしてその能力を使えるようになっていきます。

### 根底を流れるモノ・コトを追究

植松先生は、五歳の頃から小唄、長唄、三味線、剣道といった日本の伝統文化を学び、その後、拳法、空手を通じ、人間の動きについて興味をもつようになりました。治療は小学生の頃からできていたようで、近所のおじさんの腰痛を治療していたそうです。

高校のときにトレーニング技術を習得するためにアメリカに留学。帰国後、トレーナーとして活動しながら大学を卒業。解剖学や運動科学も学びながら、柔道整復師の国家資格を取得後に、植松整骨院を開業しました。

開業してからも、人の体と向き合う中で「本当の私とはなんなのだろう?」という問いを持ち続け、世界中の真理を探求している方々に「突撃隊」のように会いに行かれています。

様々な技術やメソッドについて学び、カイロや一点を治療するだけでは全身のバランスを見ていることにはならず、それだけでは足りないと感じるようになっていきました。生体エネルギー技術と出会い、佐藤先生の三つの丹田の充実する様に驚き、勉強会に通い始めたのもその頃です。

### 「超」の能力を使いこなす

植松整骨院には、現代医学では手がつけられない重病



(上) ベージュの部分ガンジス川流域  
(左上) ヒマラヤにあるガンジス川の源流。氷河から流れ出ている。  
(左下) ガンジス川が海との邂逅をはたす、ガンガーサーガル。

の方々も通って来られます。こうした方々に「私という私を思い出す」きっかけを与えてあげること、新たな機序が生まれて自然と快方に向かっていく方々も多くいるそうです。

「人類にはまだ使いこなせていない能力が無数にあり、これを「私という全部の私」は知っているはずなのです。地球との関係性(重力)は物理的な肉体をもつ以上、一番大切なものです。地球との折り合いが悪いと、なぜか物事がうまく行きません。逆に、この関係性を良くしてあげると脳波も変わり、神経系統も変わり、物の見方も変わっていきます。このことを教えてあげれば、重力の操作ができるようになっていき、自分の質量の3倍位の力を発揮することができるようになります。

私という私は、目の前の人をつくっている私と、植松をつくっている私と同じ私から生まれている。いつも大きな私と小さな私が同時に存在しているということです。具体的なイメージとしては、空間が観てるということですから。ネパールのストゥーパ(卒塔婆の由来)に書かれて



空間との関係性の一番いいと思える位置を設定していくと、卑屈になりたくても、卑屈になれなくなり、その位置が不快に思えなくなります。

すごく人間らしい反応なのかもしれません。生体エネルギー技術もさまざまな治療も、いいのがわかっていても、それができない、素直にそうならない理由は、こうしたところにあるかもしれませんね。

中心がわかることで、地球との折り合いがつく。地球との折り合いがつくと、最終的には宇宙観が生まれる。地球との折り合いがつかないと、宇宙観が生まれません。

### ガンジス川は誘導翻訳装置?

ガンジス川が海との邂逅をする地に、ヒンドゥー教の聖地ガンガーサーガルがあります。植松先生はこの地を訪れたとき、この海の水の方がヒマラヤの源流よりもエネルギーがあると感じたそうです。

「このことで僕は生きていく意味があると感じました」ガンジス川は有機バクテリアの数が一般的な川の約14倍といわれ、その浄化力でも知られています。インドの大地を2525 kmも流れ、人々の営みを全て呑み込み、浄化し、遍く物語を豊かにして海に流れつき、そこからまた蒸発して雲となり、雨となり輪廻を繰り返す。インドという国土と精神性、そして聖なるガンジス川がすべてを受け入れて誘導翻訳転写代謝浄化していく「誘導翻訳装置」とも言える能力を持っているとするならば、佐藤先生の目指す産業の一端がこのガンガー(ガンジス川の通称であり、ヒンドゥー教に伝わる、ガンジス川を神格化した女神)にみられるのではないかと。

どこまでも透き通ったヒマラヤの源流の水よりも、インドの営みを呑み込んできた河口の濁った水の方がエネルギーがある。このことは「きわみ」を設置した工場の

いる大きな目のように、自分の背後から自分を観ているような感覚が如実にあります」

### 当会会員の体の反応は「味違う」

生体エネルギー技術を日々活用している会員は、一般の方に比べて体の反応が早く、体に触れる時の跳ね返りがあると感じるそうです。

「細胞の外に向く力がちゃんとあります。現代人にはこの外に向く力がないから、しぼんでいる感じがあります。反応が早いと、タンとするとパワーと行く感じがです」

アスリートにも同じような感覚があるといえます。「突き詰めていくと、自分のことをモノだと思っている人と、エネルギーだと思っている人の違いに行き着くのかも知れません。アスリートでもトップに行けば行くほど、エネルギー的な感覚を持っています。ウエイトトレーニングをいくらやっても、それはモノの原理を抜けることはできないんです」

### 宇宙観を生む環境をつくる

「空間ができて、そのエネルギー性が高ければ、そこで気が生まれやすくなります。場違いなことをすれば、マイナスの現象が起きてくる。逆に、そこに見合った現象を起こせば、物事がうまくいきはじめます。マイナスなことが出てくれば、そのことで自分を再認識できます。どっちにしても結果にできます。空間のエネルギー性が高まることで、様々な現象が出てきて、そのことに気づくことができないと、延々と同じ課題に向き合い続けることになりません。

治療をして楽になっても怒る人がいます。今の自分の価値観にしがみつきたい人です。地球との折り合いと、排水に鮎や鮭が上ってきたり、虫が戻ってくる現象と相似形と言えます。

この現象を植松先生はこう考察しています。「ヒマラヤは太古の昔、彗星が衝突して「H」の元となる回転エネルギーが生まれたとする説があります。ヒマラヤ山脈と聖山カイラスもこのHのエネルギーの上にてきていて、この地に四大文明や宗教的起源があったり、今でもガンジス川に人智を超越するエネルギーがある。この地でモクシャ(解脱)するというのは、人が根源的なエネルギーと共鳴して、オリジン(起源)に帰ることができるからではないでしょうか」

この話を聞いて、ヒマラヤの源流とガンガーサーガルに行つて自分でその水の違いを体感したい、そう思いました。■

### 身近な実践 1

### 植松整骨院に通って



進藤英樹・進藤あけみ (静岡県支部)

あけみ・植松先生との出会いは15年前。お米と生体エネルギー商品販売している「金銀」で働いていた時に、一日で十数袋(1袋30+)のお米を精米しなければなりません。最初に覚える仕事はその重いお米を持ちあげて、精米機にかけられる様になる事。その際に腰を痛めないように自分なりに工夫する事。という2点で

した。最初は大変でしたがクリアし慣れてきた頃に、(店主の野末) 響子さんに裾野市に体を整えてメンテナンスしてくれる良い先生がいるから行ってみたいと勧められたのが最初でした。

### 治療について、他の整体院との違いは？

**あけみ**：通い初めの頃は植松先生の治療の前に別のスタッフの方に体をほぐすマッサージ的な治療をやって頂いた事がありますが、植松先生の治療はそれとは異なる方法で、あまり体には触れません。

**英樹**：院内はとてもさわやかで、ソファで順番を待つ間、自然と背筋を伸ばしたくなります。内容は分かりませんが生体エネルギー資材を使った建築、仕掛けが施されているのだと感じます。

### 体のバランスを整える

**あけみ**：「まず、鏡の前に立って、自身と地球が繋がっている中心軸を確認します。鏡に映る姿は真っ直ぐ、しっかり立っていますが、先生に腰のあたりを押されると、いつも簡単に崩れてしまいます。本当は歪んだ状態が楽な姿勢なのに真っ直ぐ立っている様に取り繕っている状態です。植松先生に「左肩はこう」「首はこう」「右腕はこう」「腰はこう」と各部を現状のバランスが取れた(歪んだ)位置に動かされると、そこに映る姿は糸の切れた操り人形の様な状態。しかし、そのまま先程と同じように腰をグッと押されても今度はびくともしません。歪んだ状態でバランスがとれているという事です。現状を把握した後、治療が始まります。ベッドの上につ伏せ、仰向け、そのまま膝を立てたりと、状態を変えながら治療が進みますが、先程も言った通り、あまり体には触れず、サッと触れるだけ。何年も通っていてもこの様な表現しか出来ないのでは非、体感して頂ければと思います。

最後に仰向けになると、頭に両手で触れ、プツプツと何かを吸きながら、ここからは私の推測ですが頭の中、体の中を覗いて言葉で脳や内臓、筋肉、骨のあるべき位置、状態に誘導しているのではないかと思います。

### 体の変化は？若返り？

**あけみ**：治療後、再び鏡の前に立つといつも顔がスッカリして、さわやかな空気を放っている感じがします。勿論真っ直ぐの姿勢で地球と繋がってバランスが取れた状態です。腰を押されてもかれる事はありません。

**英樹**：今年に入り、鈍感な私でも体のバランスが崩れている事を常々感じており、もつた植松先生助けて！と久し振りに伺う事に。治療して頂くと、植松先生から「もう少しで皆さんになっちゃう所だったよ。これで大丈夫。25歳にしておいたから」と言われ、その時は流石に言い過ぎではないか先生と思いましたが、その2日後に仕事関係の人から年齢を聞かれ「25歳位かと思いました」と驚かれました。ズバリ25歳!!体をそういう情報にしてくれたそうです。

### 最後に

**あけみ**：金銀で働いている頃、毎日かなりの量を精米しているお米屋さんとお会った時に、腰が痛くなりませんか？と聞かれました。まったく痛くないと答えたら驚かれ、女の人で何年もの間、一日十数袋も精米して、それで腰が痛くないなんて考えられない。と。その会社ではその仕事を男性がやっており、長くて6ヶ月、平均3カ月に腰が痛いと言って辞めてしまうそうです。その方からウチに来ませんか？とスカウトされました。植松先生に整えて頂いていたおかげです。

親しみやすく、話しやすい。色々な事を追求して徹底的に調べて治療に活かされている信頼できる素敵な先生に皆様会いに行ってみて下さい。■

## 身近な実践 2

### 植松整骨院に通って



石田 由紀子 (静岡県支部)

現在は月に1回のペースで通院しています。施術室に入るといつも先生が、元気な挨拶で、笑顔で向かえてくれます。まず、全身のバランスチェックから始まります。そして、全身が映る鏡の前に立ち、体を見ながら前後左右に傾いたり、前屈の姿勢からその人の体のバランス(中心線)を見てくれます。

因みに、私はいつも体がグラグラ揺れたり、疲労の蓄積で、目が開いていない時もあります。

以前植松先生から「頭の使い過ぎ(気の使い過ぎ)で目が開いていない」と言われた事があります。当時、会社の事、家族の事に悩んでいました。

現在は、悩み事は、解決したので、目が開いていない事は、少なくなりました。

その後10分〜15分ほどの施術を受けた後、鏡の前で再チェックをし、バランスチェックをしても体の中心が整っている。体は、バランスを保ち、ぐらつきません。

通院後は、姿勢も良くなり、目も開き、顔も元気になり、自然に笑顔が溢れて来ます。

植松整骨院までは車で片道2時間かかり、行きは途中で仮眠をするくらい体が重いですが、施術後は、体が軽くなるのが、休憩しなくても帰る事が出来ます。体のメンテナンスは、必要だと思いつつも通い続けたいと思っています。■

初めまして。北海道支部の堀川優子です。はじめの一步の原稿は、行ける時に参加する位のゆるい活動でもなんとかこなしている見本としてお引き受けした次第です。お気軽に読んでいただければと思います。

最初に生体エネルギーに触れたの



ほりかわ ゆうこ 堀川 優子 (北海道支部 会員番号 4259)

は、生体の会員のSさんが煎れたコーヒーをいただいた時です。大変美味しかったことを伝えると「浄水器に味がよくなり健康になる情報を入れてある」と言われ、全くの意味不明で「そのうち壺でも販売されるのでは」と警戒した記憶があります。

月日は流れ、職場で過重労働が続き疲労困憊になった私を心配して、Sさんが中澤さん宅にお誘いしてくれました。仕事時間が長かったのもありますが、当時は体重コントロールのためカロリーの帳尻だけあわせて食事内容は糖質や脂質に偏っており、睡眠時間も数時間など、健康管理が適当で劣性遺伝子支配状態になっていたと思います。

そんな中、中澤さん宅で、生体エネルギーで育てた野菜や米を使った料理をごちそうになり、お風呂にまで入らせていただき、仕上げにオリベックスを背中塗りこんでもらい、複数回回って体の内外からケアしていただきました。中澤家に伺う度に体が楽になり、エネルギーが充填されていくのがわかりました。生体エネルギーの知識は全くありませんでしたが、五感でこの環境水や食事は体に良いものだと感じていました。

その流れで学習会にも参加させていただきましたが、最初は会員になるかは迷いました。理由は、私は物を作る仕事に就いていないので、農業や産業界の考え方についていけないのではないかと考えたからです。しかし、何回か話を聞いてい

ちに、無形のサービスであつても情報をのせることができることがわかり、水や食品の実験で目の前で味が変わる理由、何故、生体エネルギーの農作物や製品を使うと病が和らぎ、元気がでるのかを知りたいと思いい入会を決めました。

支部学習会で講義を聞き印象に残ったのは、自分の前提が空間に反映するという考え方でした。

例にだして説明してくれたのですが、きわみの水を他の場所に運んだ時、運んだ場所によって、エネルギーの高い場所から低い場所に行くことになると思っていたら劣化するし、能力がある水だから運んでも劣化しづらいと思えば水の能力は変わらない、ということ。自分の価値観やさらにその先にある共同体感覚(宇宙観と表現されていましたが私は共同体と捉えてみました)で物語が変わっていくので、自分を常に進化させていくことが大切だといった内容でした。

その話を聞いて、自分が進化していくためには、誰のため、何のためといった共同体感覚を掴む作業が必要であり、掴むためには自分の価値観や信念の洗い出しが必要なんだなと思いました。

現在、本を読んだり、心理学の講義を受けながら地道にその作業に取り組んでいます。家族や友達、職場の仲間、会員の皆様が自分らしくそれぞれの自己実現にむけて、心身そして魂的にも健康に生活できることが私にとっての幸せに繋がると思



上：環境改善ブロック(円柱の入れ物5個)：私の結婚祝いにSさんが贈ってくれました。大変嬉しかった贈り物です。左上、左下：健耕土壌・実験：健耕土壌の資材を入れて比較実験開始。ほうれん草を植えてみました。



編集部より  
本誌は会員のひとりひとりが作り上げていく会報誌として、投稿された方の生の声を尊重しておりますが、実践や理論の専門的なことは生体エネルギー研究所に監修を依頼しております。内容により一部表現を変更させて頂く場合がございます。ご了承ください。

# お知らせ コーナー

## ◎本部事務局より

家族会員及び部会変更のお申込みは、11月末日が締め切りとなっておりますので、希望される方はお早めに手続きをお願いします。

対象者の方のみ別送しておりますが、下記条件をみたしており届いていない方は本部事務局までお問い合わせください。

- 家族会員の条件
- ① 当会会員であること（申込時点）
  - ② 同一住所に住み、連絡先が一つであること
  - ③ 同一家族であること

※一度登録された方は、変更届けがない限り毎年提出の必要はございません。

## ◎お詫びと訂正のお願い

真和10月号に掲載しました内容に誤記がありましたことお詫び申し上げます。ここにしてお詫びと下記の通り訂正をお願い致します。

- 16ページ 社会貢献事業のその後  
・理事長のふりがな（誤）いのくま  
↓（正）いぐま

（正）社会福祉法人 浜松市社会福祉事業団へ寄贈。その中の施設である浜松市発達医療福祉センター「はままつ友愛のさと」にきわみを設置 以上

## ◎東京湾大感謝祭の報告

去る10月15日、16日の二日間に行われ、横浜大さん橋ホールをメイン会場に「東京湾大感謝祭2022」が開催され、SDGs東京湾に賛同する50の企業や団体が出席。当会も、生体エネルギー技術の存在とその可能性を一般の人に広く関心をもってもらうため、今回初めて出展し、会の活動やこれまでの成果を紹介いたしました。手応えを感じたスタッフから「来年も継続して出展しよう」という動きも出てきています。詳細は部会報にて。



当会のオンライン展示



1日目にお手伝いいただいた会員みなさんと

大人気だったキッズコーナー

## 今後の日程

勉強会・イベント

本部勉強会

11月

12月

1月

お問合せ先

FTIグループ

11,12

2,3

sernergy@chive.ocn.ne.jp

北海道支部

0145(45)2222  
info@nogenweb.com

青森支部

017(03)0380  
takako@tmillion.co.jp

山形支部

022(02)0013  
hayasaka@ic-net.or.jp

宮城支部

022(02)0254  
shinden@e-shinden.com

栃木県支部

028(02)2207  
999@homaru.co.jp

東関東千葉支部

043(02)1305  
inagishop@sopla.or.jp

支 部

045(04)1177  
seita-syuden@otobato.com

首都圏支部

03(03)1073  
hajime@fruits.jp

山梨支部

055(05)0522  
info@e-marusei.biz

長野支部

10

026(02)2208  
takano@sea-green.com

新潟支部

025(02)0501  
kiki@silicon.ne.jp

静岡県支部

053(05)0501  
toukaisibu@mac.com

東海支部

076(76)2209  
seita-shinamura1842.jp

関西支部

026(02)4143  
026(02)4143

■ 農業者研究会

026(02)4143

■ 印の勉強会は参加者に規定がございます。お問い合わせください。

※今後の新型コロナ情勢により変更する可能性があります。

※最新の情報はお問い合わせ先に確認してください。

## 編集後記

車を持っていない私だが「KODOH-PRO」は2つ持っている。一つは仕事用。記事にも書いたように、建築現場で荷降ろしのトラックやコンクリート打設時のポンプ車やミキサー車につけるもの。もう一つは自分用。出張で移動が多いために新幹線やバス、レンタカーにつけるためのものだ。自宅ではこれをコンセントにさしながら、アースを取って黒しらべのアンテナにつなげて「KODOH-PRO」の情報を電波で飛ばしているが、車用の商品だけに車で体感するほどの変化は得られていない。それだけ車の金属ボディを使って車全体を加算し続ける仕組み（PSG図）は素晴らしいアイデアだと思う。「KODOH-PRO」を手に入れてから、ドライブだけでなく買い食したものを車で食べるのが美味しく、このために車が欲しくなりました。電車とバスで行くことのできる現場でも、あえてレンタカーを借りて「KODOH-PRO」をつけ、肉体労働の疲れを癒やす回復室として使ったり、現場近くを走って近隣の環境改善をしたりもする。トラックの運転ちゃんや職人さんたちを招いて味比べ実験をして伝えるのも楽しいひと時だ。

編集部長 大野純平

## 生体システム実践研究会会報

発行 生体システム実践研究会  
幹事長 栗田厚弘  
編集 大野純平・金田直子  
監修 生体エネルギー研究所  
印刷 株式会社ジャパンスリープ  
題字 山川宗休老大師

「真和」編集部

〒400-0511 長野県東御市滋野甲4-9-73  
TEL: 02666(0)41433  
FAX: 02666(0)11909  
E-mail: sernergy@chive.ocn.ne.jp